
公的資金補助による研究

2002年4月～2005年3月、基盤研究(B)『テキスト理解と学習—テキストの言語の特徴が理解と記憶に与える効果について—』

(課題番号:14380119)(研究代表者:堀場裕紀江;研究分担者:長谷川信子、井上和子、小林美代子)[総額10,900千円]

2003年4月～2006年3月、基盤研究(C)『静岡県下「言語の島」における言語変容に関する基礎的研究』

(課題番号:15520293)(研究代表者:木川行央)[総額3,300千円]

2004年4月～2007年3月、基盤研究(B)『早期英語教育の指導者養成及び研修の実態と将来像に関する総合的研究』

(課題番号:16320075)(研究代表者:小林美代子;研究分担者:長谷川信子、堀場裕紀江、田中真紀子、原岡笙子)[総額13,400千円]

2007年4月～2010年3月、基盤研究(B)『文の語用的機能と統語論:日本語の主文現象からの提言』

(課題番号:19320063)(研究代表者:長谷川信子;研究分担者(2008年4月より):遠藤喜雄)[総額10,400千円]

2007年4月～2010年3月(2009年10月より熊本大学へ移管)、基盤研究(B)『早期英語教育指導者の養成と研修に関する総合的研究』

(課題番号:19320085)(研究代表者:小林美代子;研究分担者:宮本弦、田中真紀子、長谷川信子、堀場裕紀江)[総額14,277千円(本学での執行分)]

2008年4月～2011年3月、基盤研究(C)『早期英語教育教材に見る語彙と文法の特徴:真に「英語が使える日本人」育成に向けて』

(課題番号:20520552)(研究代表者:神谷昇;研究分担者:長谷川信子、小林美代子)[総額3,640千円]

2008年4月～2012年3月、基盤研究(B)『語彙とテキスト理解:読解に関わる語彙知識の多面性と語彙の意味について』

(課題番号:20320073)(研究代表者:堀場裕紀江;研究分担者:岩本遠億、木川行央)[総額19,370千円]

2009年4月～2012年3月、基盤研究(B)『談話のカートグラフィー研究:主文現象と複文現象の統合を目指して』

(課題番号:21320079)(研究代表者:遠藤喜雄;研究分担者:長谷川信子)[総額9,880千円]

2009年4月～2012年3月、基盤研究(C)『首都圏方言の実態に関する基礎的研究』

(課題番号:21520478)(研究代表者:木川行央;研究分担者:久野マリ子)[総額4,290千円]

2011年4月～2014年3月、基盤研究(B)『述語の意味と叙述タイプに関する統語論からの考察:機能範疇統語論の構築を目指して』

(課題番号:2332089)(研究代表者:長谷川信子)[総額5,590千円(予定)]

2004年12月～2009年11月、(独)科学技術振興機構委託研究 研究領域:「脳科学と教育 タイプ(II)」研究課題:「言語の発達・脳の成長・言語教育に関する統合的研究」

(研究リーダー:萩原裕子(首都大学東京))本学担当研究題目:『言語学・応用言語学に基づく、外国語能力の検査、判定、評価法の開発』(研究機関代表者:長谷川信子;研究分担者:井上和子、小林美代子、堀場裕紀江)[総額21,420千円(本学担当分)]

COE プロジェクト

本研究センターの母体は、平成8年(1996年)～平成13年(2001年)の5年間に遂行された文部省(現文部科学省)科学研究費補助金(COE形成基礎研究費)によるCOEプロジェクト(研究テーマ:『先端的言語理論の構築とその多角的実証—ヒトの言語を組み立て演算する能力を語彙の意味概念から探る—』)です。